

千年カルテプロジェクト 京都シンポジウム

～ 次世代EHR基盤をとりまく法的諸課題 ～

プ ロ グ ラ ム

主催者挨拶「EHR: The Long and Winding Road」

研究開始のご挨拶とこれまでの経緯

宮崎大学理事（附属病院長）、京都大学名誉教授

吉原 博幸

基調講演Ⅰ 次世代医療 ICT 基盤の構築と利活用推進について

健康・医療戦略に基づいた次世代医療ICT基盤の構築と利活用推進の取組

内閣官房 健康・医療戦略室 企画官

堀内 直哉

基調講演Ⅱ 医療にICTをどう活用するか

20年後のパラダイムの転換を見据え、保健医療にICTをどう活用していくかの展望

厚生労働省 大臣官房厚生科学課 企画官

吉田 淳

基調講演Ⅲ 「千年カルテプロジェクトをとりまく法的諸課題」

京都大学医学部附属病院 医療情報企画部 教授

黒田 知宏

特別講演Ⅰ 「人間を守る医学研究」を進めるために：次世代EHRへの期待

人間の健康を損なうリスク因子の解明から対策実施・評価を進める疫学の視点と次世代EHRへの期待

京都大学大学院医学研究科

社会健康医学系専攻健康情報学分野 教授

中山 健夫

特別講演Ⅱ 個人の生涯データの利活用に向けて（PHR実装のインパクト）

「クラウド時代の医療ICTのあり方に関する懇談会」報告書に見る次世代EHR基盤との連携を含む展望と課題

総務省 情報流通行政局 情報流通高度化推進室 室長

吉田 宏平

特別講演Ⅲ 個人情報保護法と医療データ連携

個人情報保護法平成27年改正法概要と個人情報保護法制2000個問題等医療データ連携の法制上の課題

新潟大学 大学院現代社会文化研究科、法学部 教授

鈴木 正朝

特別講演Ⅳ 「関西健康・医療創生会議の取り組みを中心に」

京都大学元総長・関西広域連合顧問

井村 裕夫

日時：平成27年12月18日（金） 17:30～19:30

場所：京都大学 百周年記念ホール

主催：特定非営利活動法人日本医療ネットワーク協会（JMNA）

後援：関西健康・医療創生会議

一般社団法人 日本医療情報学会関西支部



Japan Medical
Network
Association
Non-Profit Organization

基調講演Ⅰ

堀内 直哉 (ほりうち なおや)

平成5年に厚生省(当時)に入省
厚生労働省医薬食品局血液対策課、安全対策課、医療機器・再生医療等製品担当参事官
室や神戸市・先端医療振興財団、PMDA医療機器審査部、同関西支部等出向などを経て、
平成27年4月から内閣官房健康・医療戦略室企画官に着任



基調講演Ⅱ

吉田 淳 (よしだ じゅん)

1991年3月千葉大学大学院薬学研究科修了(薬学修士)
同年4月厚生省(当時)入省
2013年7月から内閣官房健康・医療戦略室企画官
2015年4月から厚生労働省大臣官房厚生科学課研究企画官(現在)



基調講演Ⅲ

黒田 知宏 (くろだ ともひろ)

1971年生まれ 1994年京都大学工学部情報工学科卒業 1998年奈良先端科学技術大学
院大学情報科学研究科情報処理学専攻博士後期課程修了奈良先端科学技術大学院大学
情報科学研究科助手 2001年京都大学医学部附属病院講師 2003年医療情報部副部長
(兼任) 2007年4月大阪大学大学院基礎工学研究科准教授 2009年京都大学医学部附
属病院准教授 2013年 京都大学医学部附属病院教授, 同医療情報企画部長(兼任) 同
病院長補佐(兼任) 同情報学研究科教授(兼任)



特別講演Ⅰ

中山 健夫 (なかやま たけお)

1987年東京医科歯科大卒、米国UCLAフェロー、国立がんセンター研究所室長を経て、2000
年京都大学大学院助教授、2006年より同教授、2010年より副専攻長。日本疫学会・日本薬
剤疫学会理事、医薬品医療機器総合機構(PMDA)専門委員、医療ビッグデータコンソーシア
ム代表世話人。2014-16年 厚生労働科学戦略研究「健康医療分野における大規模データの
分析及び基盤整備に関する研究」代表、
[主な著書] 医療ビッグデータがもたらす社会変革(日経BP) 他



特別講演Ⅱ

吉田 宏平 (よしだ こうへい)

1994年(平成6年)郵政省入省。総務省に移行後、総合通信基盤局電波部移動通信課、
電気通信事業部電気通信技術システム課番号企画室、行政管理局副管理官(厚生労働省
担当)、官房秘書課、郵政行政部、電気通信事業部事業政策課、株式会社電通(官民交
流)等を経て現職。



特別講演Ⅲ

鈴木 正朝 (すずき まさと)

1962年生。2005年より現職。専門は情報法。法とコンピュータ学会理事、情報ネットワーク法学
会会員。
内閣官房 パーソナルデータに関する検討会委員、経産省 個人情報保護ガイドライン委員会委
員、厚労省 ゲノム情報を用いた医療等の実用化推進タスクフォース委員、同 社会保障分野
SWG構成員、日本ユーザビリティ医療情報化推進協議会 医療情報化推進戦略会議委員・医
療情報利用促進委員会委員長・ゲノムが作る新たな医療推進委員会委員、日本データ通信協
会Pマーク審査会長他。



特別講演Ⅳ

井村 裕夫 (いむら ひろお)

1954年京都大学医学部卒。内科学とくに内分泌代謝学を専攻。神戸大学教授、京都大学教
授、医学部長を経て、1991~7年京都大学総長。1998~2004年総合科学技術会議議員と
して科学技術政策に関わる。2004年以降、JST研究開発戦略センターの活動を通して、新しい
医学の方向として先制医療を提案し、同時に先端医療振興財団理事長として神戸医療産業都
市の建設に努力。現在日本学士院会員、米国芸術科学アカデミー名誉会員など。

